

飯田市大会で総合優勝

飯田市消防団松尾分団33年ぶりの快挙



「いい成績を残して、地域の人たちに防災意識を持ってもらいたい。そういう気持ちでがんばりました」小型ポンプ操法の部・八幡班指揮者 平栗康幸さん話

6月29日飯田市消防技術大会が桐林運動場で行われ、第5分団（松尾）が昭和56年以来33年ぶりの総合優勝を果たした。内訳はポンプ操法の部・自動車班1位、小型ポンプ操法の部・八幡班3位、毛賀班13位、ラッパ吹奏の部5位、救急操法の部1位。

救急操法は、けがの担当でや心肺蘇生などのタイム

13日に平谷村で開催された



発行所 飯田市松尾公民館
編集人 松尾公民館広報委員会
印刷：龍共印刷(株)

すごいぞ相撲クラブ!! 優勝・準優勝



7月26日に、岐阜県郡上市で全日本女子相撲大会があり、松尾小学校からも多数の児童が参加した。小学4年生の部では激しいぶつかり合いの末、決勝戦は松尾小同士となり優勝は福澤明莉さん、準優勝は木下茜莉さんと素晴らしい結果であった。

上位入賞選手名簿

小型ポンプ操法の部(八幡班)	指揮者	平栗 康幸
	1番員	古賀 大和
	2番員	平澤 剛
	3番員	遠山 弘幸
	補助員	秦 卓典
	補助員	木下 浩介
ポンプ操法の部(自動車班)	指揮者	齋藤 靖高
	1番員	村澤 泰斗
	2番員	片桐 将史
	3番員	篠田 潤
	4番員	平澤 竜一
	補助員	塩澤 一也
	補助員	小島 彰夫
救急操法の部	指揮者	田畑 敦
	1番員	小熊 美佳
	2番員	田平 江里
	補助員	田中 明

季語【秋】

新涼・夜長・蛸雲・野分・水澄む
新酒・新蕎麦・蓼参り・蜻蛉
ひぐらし・柚子・萩 など
皆さんも、季語を使って俳句をつくり
深まりゆく秋を楽しんでください。



前回の俳句を載せましたので、今回は入れ替えて夏の俳句です。

館長つらみ

日だまり歳時記

こんには、角田です。掲載の句は最初「鮎掛けの早瀬に入りて動かざる」でした。その句を同人誌「ホトトギス」の栗津松彩子先生に添削してもらい、下記の句になったわけです。なるほど、ほんの少し変えただけで心情がより伝わる句になりました。

鮎掛けの早瀬に立ちて動かれず 館長

市政懇談会 住民参加型で開催

7月22日に松尾地区市政懇談会が松尾公民館で開催され145人が出席した。今回の懇談会は市長の講演を1部とし、住民の意見発表とまちづくり委員会からの報告を2部とし、住民参加型で行われた。1部の市長講演は、リニア開通を見据えた市政経営方針、今年度の産業・医療・防災など施策についての具体的な説明があった。



発表する松原利菜さん

松尾の人口

男子	6,143人
女子	6,927人
計	13,070人
世帯数	4,885世帯
8月末現在	

固定電話に変わる通信手段として、ポケベルやPHSが主流だったのは私が学生の頃。今は進化し多機能で便利になったものだ。しかし感心している場合ではない▼今では幅広い年齢の人たちが携帯電話を持つようになった。親が子供の安全のために与えた携帯は、気がつけば有料サイト等、親の目的とは掛け離れた使い方をされ、子供へ害を及ぼす結果へと。また、問題視されているラインなどのネットワークアプリは、子供たちの方が柔軟に使いこなすまでになった▼考えれば、きっかけはいつも大人であったように思うが、今大人でどのくらいの子供が、子供に的確なアドバイスができるだろうか？子供を持つ親が、危険なことがあることは知っていても、回避するすべを把握しきれていないのが実情である▼子供との約束事やルールを決める際、世間の情報ばかりが先走り子供へ大切なことを伝えたくても、怖気づくのも事実。日々胸を抉られるような恐ろしい事件を聞くたびに、どうすればよいのか考えさせられる。せめて機械に依存しなくても生きていけるすべを学んでほしいと願う。

松風
固定電話に変わる通信手段として、ポケベルやPHSが主流だったのは私が学生の頃。今は進化し多機能で便利になったものだ。しかし感心している場合ではない▼今では幅広い年齢の人たちが携帯電話を持つようになった。親が子供の安全のために与えた携帯は、気がつけば有料サイト等、親の目的とは掛け離れた使い方をされ、子供へ害を及ぼす結果へと。また、問題視されているラインなどのネットワークアプリは、子供たちの方が柔軟に使いこなすまでになった▼考えれば、きっかけはいつも大人であったように思うが、今大人でどのくらいの子供が、子供に的確なアドバイスができるだろうか？子供を持つ親が、危険なことがあることは知っていても、回避するすべを把握しきれていないのが実情である▼子供との約束事やルールを決める際、世間の情報ばかりが先走り子供へ大切なことを伝えたくても、怖気づくのも事実。日々胸を抉られるような恐ろしい事件を聞くたびに、どうすればよいのか考えさせられる。せめて機械に依存しなくても生きていけるすべを学んでほしいと願う。

手打ちそばに舌鼓

7月27日代田公民館にて恒例の夏祭りが行われた。夏祭りにふさわしい青空の下、屋台から美味しいそばを味わうように区民が大勢参加した。野外ステージでは代田ギタークラブなどの色々な催しが行われ、今回は、緑ヶ丘中学校吹奏楽部が素晴らしい演奏を披露した。その他に流しそうめんや五平餅、フランクフルトなどの提供もあった。

今年には発足5年目を迎えた蕎麦クラブが、宮澤直人さんの休耕田を借りて蕎麦を作り、収穫まで自分たちで行い、夏祭りのために10キロの蕎麦粉を提供した。同クラブは定期的に蕎麦打ちの練習をしており、この日は打ちたての蕎麦を区民に振る舞った。



味は格別

「焼肉交流会」今年は？

7月27日久井公園において久井壮年会による公園美化整備作業と、小学生・同PTAによるお楽しみ会が同時に行われた。

この整備作業は8月に開催される納涼大会を前にして毎年この時期に行われるもので、会員30人程が参加して園内の除草とゴミ拾いに従事し軽トラック荷台いっぱい草ゴミが集められた。

その間に小学生は宝さがしやドッジボール、午後にはスイカ割りに興い歓声をあげて楽しんでいった。

昼は総勢60人近くで恒例となった、合同焼肉大会を実施した。それぞれ汗をかいた後だけに、冷たい飲料片手に焼肉を堪能した。

今回は小学生が自主的に行動したので、おじさん(壮年会)と子供の交流の場面は少なかったが、その分大人同士の意見交換の場もなつた。



焼けたかな？

6年生の地区長木下善君は「夏休み前に自分たちで準備をした。今年は小学生の人数も増え、どうなるかと心配したがお父さんたちの支えもあって、予定通りできた。壮年会役員も「奉仕作業と交流会の同時進行は難しいが、子供と親御さんらの顔を覚え、交流が図られたのではないかとキバキと行動する子供たちは、見ていて頼もしい」と話した。

楽しく学んで、奉仕活動も

8月10日水城コミュニティにおいて、小学校PTA水城支部主催の子供講座と地域奉仕活動が行われた。始めに松尾サイエンスによる講座が開催され、子供36人保護者7人が参加した。最初によく飛ば紙飛行機の折り方の説明を受けて折りあげ、全員一斉に紙飛行機を飛ばし、行方を追った。

続いての吹き矢作りでは、子供たちが扱っても危なくないように矢には綿棒を使い色紙で作った羽を巻きつけて完成。ストローは特注で少し太めのタピオカストローを使い、和紙で作った的をめがけて吹いて楽しんだ。最後に巨大なビ



的を目掛けて

**公民館の
主な行事予定
(10月～12月)**

- 【10月】
 - 12日(日) 松尾地区市民運動会
 - 25日(土) まけるな農園秋の収穫祭
- 【11月】
 - 2日(日) 松尾バレーボール連盟 後期大会
 - 8日(土) 松尾サイエンススクール
 - 16日(日) 飯田市女性バレーボール大会
 - 23日(日) 分館対抗 ふらぶらるバレー大会
- 【12月】
 - 7日(日) 公民館大掃除
 - 13日(土) 第12回松尾踊ってみよう会
 - 松尾サイエンススクール

源氏ホタルが出た！



いやされる～

「今年はホタルがいつぱい飛んどうるに」弁天橋西側、大橋屋酒店下の荒川に例年になくホタルが飛んでいるとの情報が寄せられた。6月中旬の夜であった。早速取材に行くと、「えっ」と驚くほどたくさんのホタルが舞っていた。一カ月ほど前、この川は水利組合が川床掃除をしており、洗い流されたと思ったがホタルの幼虫は流されていなかった。近年この周りではホタルは1、2匹舞う程度であったが、この日はあちこち見回すほどピカピカと明滅しながら舞っていた。捕虫網で捕えてみると大きな源氏ホタルのようだった。

翌昼、川床を見るとホタルの幼虫の住み家ともなる梅花藻の花が咲いていた。後日その事を新井区福寿の会再編成発会式で報告した。それを聞いた近所のおばあさんが孫と見に行き「きれいだなあ。今年は多いんだなあ」と感激していたという。

マレットと焼肉で納涼

8月3日小雨の降る比較的過ごしやすい夏の日に、小学生から年配者まで寺所区民50人が集い、松尾マレットゴルフ場にて大会が行われた。同好会で日頃腕を磨く人から、今回が初めてという人

特にホールが富士山状の上にあるコースが多く、打力の調整に苦労していた。交流の目的とはいえ競技の側面もあるのだ、お互いのスコアが気になって真剣な姿も見られた。終了後はホールイブニングの話や、それぞれのプレーを振り返って談話に花が咲いていた。スコア91



メントを残した。その後は寺所公園に移動し、焼肉をして慰労会を行った。お互いの健闘をたたえ合い今日を振り返りながら、また夏祭りなどの今後の話も話題に上り、絆を深めあつた。

夏のスケッチ



子供も大人も興奮！ラフティング

毎年恒例となつているラフティング教室(松尾公民館主催)が、7月19日に行われ、親子連れや高校生ら19人が参加した。心配された前目からの雨も集合時には止み、ライフジャケットを着用した参加者は、安全指導後に3

雨さえ降らなければ…

明区恒例の納涼祭は8月15日に行われていたが、今年初めてお盆前の10日に計画をした。しかし台風が直撃かも…という天気のため中止となった。納涼祭は明区民の楽しみになっており、とても残念ではあったがどうにも天気には勝てない。「今年は伍組対抗ソフトボール大会、マレットゴルフ

津島様祇園祭

7月12日毎年恒例となつている津島様祇園祭が「金山様」にて開催された。

梅雨明けの蒸し暑い中、約190人の老若男女が集まり、会場は普段とは違つてにぎやかになった。参加者は、恩田政雄区長の一声でこの日準備された祭壇に向かい参拝した後、壮年会や実年会・区役員らが用意したフランクフルトやジュース・ビールなどを飲食し、ひと時を楽しんだ。

フ大会、そして納涼祭とことごとく雨で中止になっている。改めて子供たちも楽しめる企画を10月17日に、両壁太鼓10周年のお祝いと併せて行う予定でいる。楽しみにしているほしい」と分館長の土屋秀文さんは語った。

明区の今年の夏は、残念ながら子供たちのお楽しみ会とラジオ体操で終わった。



ラジオ体操もがんばったけど…

ませていた。恩田区長は「多数の皆様にご参加いただき盛大に開催でき、ありがとうございます。暑い天候にも恵まれます。区民皆で無病息災・諸事昌業を願うことができました。このお祭りは、松尾地区地域振興資金活用事業として申請する」と話した。また「それまで祭りの参

上溝区 今年紙ひこうきとばしっくら

恒例の上溝区納涼祭が8月15日、集会所駐車場で開催され、125世帯、160人以上の来場者で賑わった。各種団体による屋台は、五平餅、焼き鳥、生ビール、チョコバナナ、牛串焼き、焼きそば等、どれも短時間で完売となるほどの人気だった。例年行われる〇×クイズ、じゃんけん大会、子供花火に加え、今年新競技の「紙飛行機飛ばしっくら」が加わり、幼児から80代の高齢者まで、自作の紙飛行機を飛ばし、飛距離を競って楽しんだ。また、農家から寄付された野菜のため放題も人気を集めていた。



遠くまで飛んで行け!

毛賀区 豪華賞品をめざして

7月27日夏恒例行事のマレットゴルフ大会が松尾マレットゴルフ場で行われた。今年参加者増加を期待し個人戦に加え、昨年の30人から50人へ大幅増員となった。小木曾博人区長の「先日の毛賀区長杯ゴルフコンペより参加人数が多く、盛り上がりを感じます。豪華賞品をめざして頑張ってください」との挨拶からスタートした。

参加組数が多いために9時30分にハンドマイクのサイレン音で各ホール同時にスタートし競技が開始された。木漏れ日のコースから一斉に木槌の音と歓声が沸き上がった。

ホール横を行ったり来たりのように転がらないボールに頭を抱える姿や、思わぬ転がりて入ってしまったコース数が見られた。喜び顔が見られた。

コース数力所に設置された給水ポイントで一息つき、次のホール攻略法を考える姿があった。

表彰式では各種の賞が皆に渡され、その後伍組ごとの慰労会で参加者は親睦を深めた。



よ〜し!

常盤台区 絶対だまされんに!!

7月1日常盤台区集会所にて、喬木村駐在所の井川久巡查長と妻の朋香さんが交通安全全と特殊詐欺への注意を飯田弁でユーモラスに呼び掛けた。

この日は七夕祭りの飾りつけの日だったが、願いを書いた短冊や、折紙、水引で作った飾り物などを見事に結び付けた笹を背に、松尾駐在所員と3人での寸劇で「絶対に、だまされんに」と言う年寄りをだまし、金品を持ち去るなどの犯罪が身近であることを演じて、参加者に理解を訴えた。



貴金属買い取り詐欺の一場面

松尾の子どもは松尾で育てる住民大会
 ~夢、挑戦、そして人とのつながり~
 日時 11月1日(土) 13:00~15:35
 会場 緑ヶ丘中学校体育館
 内容 アトラクション、講演、大会宣言

今年の住民大会には、海洋冒険家の白石康次郎さんをお招きし、子供たちの夢を応援し、それに向かって挑戦し続ける楽しさ・大切さを「夢、挑戦、そして人とのつながり」と題してご講演いただきます。是非、大勢の皆様のご参加をよろしくお願ひします。

白石康次郎さん



恋する?フォーチュンクッキー

7月20日城區サマーフェスティバルが城區集会所にて開催された。午後4時、駐車場に張られたテント屋台では、壮年会、昭和会が焼き鳥、焼きそば、フランクフルトを威勢よく焼き、300人分を無料で振る舞い大盛況。子供たちは、小中PTAが用意したジュースやかき氷、ポップコーン、水ヨーヨーに大はしゃぎであった。

5時からは、集会所2階大広間にて芸能祭がスタートした。各種団体、伍組合、有志など15組の

エンタリーがあり、歌や踊り、演奏など日頃の練習の成果を披露した。子供たちによる踊り『エヒカニクス』や高齢者クラブの『きよし』のズンドコ節、翔舞による華麗なよさこい『津のわさ』など老若男女の出し物で賑わった。

とりは、壮年会JKB48『恋するフォーチュンクッキー』で、長引く梅雨を吹き飛ばす程の勢いだった。

2014 夏の白

艘のボートに分乗し出発した。緩やかな流れの瀬場では水面により近づくと腹ばいになり、そこからの景色を楽しんだ。ボートが激しくアップダウンする急流では、飛び散るしぶきにあちこちで歓声があがっていた。岩場からのダイビング体験もあり、それぞれが夏の天竜川下りを満喫した。

到着時に突然どしゃ降りの雨に見舞われたが、『全身ずぶ濡れがかえって心地よい』と全員でボートを運び、記念撮影後に笑顔でお互いをねぎらいあつて終了した。

参加した小学生男子は「ダイビングではビビってしまい飛び込めなかった。来年はやってみたい」と話していた。

八幡町区 自分のいのちを次世代につなごう

7月20日八幡町公会堂で文化講演会が開催された。講師に八幡町区在住の二木はま子さんを迎え、「最期まで輝く人生のために、命を次世代にリレーしよう」と題して講演。60人が集まった。二木さんは40年間の看護師勤務の後、飯田女子短大の教授を経て、現在「看取りの文化研究所」の所長として活躍している。

「私たちが幸せな最期を迎えるためには、最期に受ける

医療や介護を知っておくこと、自分らしい最期を自ら選択することが大事。いのちには死によって消えてしまういのちもあるけれど、子や孫にリレーするいのち、人の心に残るいのちもある。次世代にいのちのリレーをすることで、人生は最後まで輝き、死への恐怖も和らぐ、自分が元気なうちに自分の人生を記録し、次の世代にリレーしよう」と熱く語った。

参加者の鎌倉まささんは、「自分の終末期までは、



最後まで輝くためには...

城區 サマーフェスティバル

まで様々なレベルの区民が12グループに分かれてコースを回った。ゲームが開始されると、あちこちから歓声や溜め息が聞こえてきて、それぞれがマレットゴルフを堪能している様子。

「私もそんなに上手な方ではないけれど、松尾以外の難しいコースで経験していることが結果になってあらわれたのかなあ」と賞品の入浴剤を片手に、控えめなコ



結果発表!

何が当たるかな?

また、来場時に配布された券と引換えに三角くじを引く抽選会が始まると、参加者が何が当たるかと真剣にくじを引き、景品の庭ほらきやボックスティッシュなど交換した後、他の品物の方が良かったのではなかなどと見比べ話をはず



加者が30人程度であったのを、佐々木久雄前区長のおかげで、今年のような企画に変更して、多数の区民が参加するようにになり、区民相互の親睦も深めることができるとも話した。

これは考えていたが、今日の話を聞いてより一層はつきりした。記録することの重要さも知ることができ、とても参考になった」と話した。

いいだ人形劇フェスタ2014

8月5日から10日にかけて「いいだ人形劇フェスタ2014」が、開催され松尾地区では公民館、新井区、清水区、上溝区、毛賀区の5カ所で行われた。

8日は松尾公民館ホールで、人形劇団クラルテによる『あひるさんのぼうし』と『もりのゆうびんはいたつ』の2作の人形劇が上演された。来場者数は380人を超え、上演直前にはホールの左右



虹色どんぐり『ひよんな出会い』(上溝区)

に並べたイス席を撤去しなければと心配するほど盛況であった。上演後に交流の時間がもたれ、子供たちは劇団員が動かす人形に触り喜ぶ顔が会場を満ちた。

9日の新井コミュニティセンターでは、人形劇のねこじやらしとグループのケロちゃん2劇団が上演し、142人が来場した。当日取られたアンケートでは、約8割の人が満足と回答した。伊野勇分館長は「年々観客が増え、楽しんでもらえてとてもやりがいを感じている」と自らも大満足していた。今回の2劇団は仲間同士ということもあり、観衆を飽きさせない間の取り方、子供の喜ばせ方など演出が冴えていた。

10日は清水コミュニティセンターにて、緑ヶ丘中学校みどり座『ベジたび』と人形劇団こざる『しよじよ寺のたぬきばやし』が上演

られる。

今年2月の豪雪の際には、雪水と共に大量の枯葉が流れ込み、水路が詰まったことで、周辺の民家へ溢れた水が流れ込む事態となった。幸い大きな被害には至らずに済んだが、周辺の区民や区の役員等が総出で復旧作業に当たったことは記憶に新しい。



取水池でも枯葉がこんなにいっぱい

九十九折井の危ない現状

九十九折井は旧地籍の毛賀沢川より取水し、途中代田区及び八幡町区の山裾を経て、久井区へ至る井水である。末端区域である久井区内で東へと向きを変え、島田井へと合流する。年間を通して一定量の水量が確保され、利用度が極めて高い。

この井水でここ2年程前から末端区域に流れてくるゴミの量が増え、問題となつている。久井区内でゴミは主に枯葉などだが、時として家庭ごみも多く見

れ込み溢れ出たことがあったが、この井水が久井区の天神坂斜面を通過していることで、上段からの雨水の流入、建設工事による土砂の流入も懸念され、多量の降水があった場合、更に深刻な事態の発生が心配されている。

万が一に備え防災訓練

8月31日飯田市一斉に地震防災訓練が行われた。松尾地区でも公民館のホールを対策本部、まちづくり委員を本部対策委員長として、各機関が連携しマニュアルに沿って非常時の対応を確認し検討し合った。

今年、広島市でゲリラ豪雨による土



「地震だ！全員シェイクアウト！」

石流が深夜に発生し、多くの犠牲者が出た。関東大震災発生日に合わせて行われているこの訓練は、地震だけでなく、土砂災害や水害などの対応も含まれている。訓練は長野県南部に大地震が発生したことを想定して行われ、本部役員が自主的に集合した。点呼確認、情報収集や対応、バイク隊による現場確認や避難所開設、誘導手順の確認等が行われた他、訓練火災で消防団も出動した。日赤奉仕団はけが人の手当や炊き出し訓練を行った。途中余震が発生した想定で、「シェイクアウト」訓練をし、机の下にもぐり「だんご虫」の体勢をとった。

反省会では情報収集から対応までの手順が実際に発生した時には遅れるとの意見も出た。



こんなに大勢集まりました

7月5日公民館ホールにおいて映画『怪盗グルーのミニオン危機一発』が上映され、子供325人、大人130人とスタッフ合わせて470人が集った。

孤児3姉妹の父親となつたグルーは悪党稼業から足を洗いバナナが好物の謎の黄色い生物ミニオンたちに支えられながら、マイホームパパになる努力をしている。ある日、世界の悪と戦う「反悪人同盟」に引き抜かれたグルーは、相棒の美人捜査官ルーシーと共に捜査に当たることになる。そんな折、ミニオンたちが何者かにさらわれ、凶暴化したミニオンたちが暴れ回る。グルーとルーシーはミニオンたちを救出に向かう。

グルーの声の吹き替えは笑福亭鶴瓶、ルーシーは中島美嘉。迫力ある映像で子供から大人まで楽しんだ。



「アヒルさん、いい子いい子」



結構重いのよ

乳幼児学級は公民館活動の第一歩!!

公民館と保健康は共催で毎月1回、年齢別の乳幼児学級を開催している。母子が孤立しないための事業で、2・3歳児は対象の3分の1にあたる約40人が登録、1歳児は84人が登録し2学級を設けるほどニーズが高い。(0歳児は10月から開講)

1歳児学級



お友だちといっしょだと、たのしいよ～

小椋直美保健師は「乳幼児の学級では、まず公民館和室で誕生会と体操をし、親子でペットボトルシャワーを作った後、玄関前の木陰で水遊び。子供たちは気持ち良さそうにビニールプールにつかったり、シャワーを掛けてもらったりして小一時間を楽しく過ごした。その後和室に戻り、保育士から絵本を読んでもらうと静かに聴き入っていた。

8月20日に開かれた2歳児の学級では、まず公民館和室で誕生会と体操をし、親子でペットボトルシャワーを作った後、玄関前の木陰で水遊び。子供たちは気持ち良さそうにビニールプールにつかったり、シャワーを掛けてもらったりして小一時間を楽しく過ごした。その後和室に戻り、保育士から絵本を読んでもらうと静かに聴き入っていた。

ふれあいひろば

◆分館対抗

6月22日松尾小学校体育館と公民館ミニ体育館で開催された。総合優勝は明准優勝は新井・清水。新種目キンボール優勝は新井・明。囲碁ボール優勝は寺所・清水。ペタンクは雨天中止となった。

◆まけるな農園

7月26日猛暑の中20人が参加し、ジャガイモやスイカなどを収穫した。5年生の安藤百夏さんは「暑いけれどどいっぱい収穫できて、食べられるので楽しい」と話した。

収穫後は公民館実習室へ移動し、収穫したジャガイモを使いチーズ焼きなどを作り味わった。

は母親同士の友人づくり。母子のふれあいを、2歳児学級は身体を使って遊ぶことを、3歳児学級は保育園入園への準備を主体にと、年齢に見合った内容で実施し、季節の行事や遠足などの野外活動も取り入れている。

8月20日に開かれた2歳児の学級では、まず公民館和室で誕生会と体操をし、親子でペットボトルシャワーを作った後、玄関前の木陰で水遊び。子供たちは気持ち良さそうにビニールプールにつかったり、シャワーを掛けてもらったりして小一時間を楽しく過ごした。その後和室に戻り、保育士から絵本を読んでもらうと静かに聴き入っていた。

児学級は子供はもちろん母親にとっても、松尾地区の住民として地域活動にかかわる第一歩」とした上で、「地域の子供は地域で育てるといふ観点から、先輩ママ・おばあちゃんたちの学級への協力」を期待している。